

小学生作文の部
【国土交通事務次官賞】【最優秀賞】
名取市立愛島小学校 6年 村上 桃香

土砂災害から命を守るために

少し前、九州の方で豪雨が降り土砂災害が起ったというニュースを見ました。そこからよく考えてみると、私の家の近くでも土砂災害が起ったことがありました。土砂災害から命を守るためにはどうしたらよいか、調べてみました。

土砂災害は、集中的に多くの雨が降ることによって起こる災害です。これによって山がくずれたり、斜面がすべり落ちたりします。

私は、土砂災害から命を守るためにはまず、どんなことが土砂災害の前ぶれなのかということをしておく必要があると思い調べてみました。山鳴りがする、川の流れが濁り、木が流れてくる、雨が降っているのに川の水が減っている、井戸の水が濁った、がけから小石がパラパラと落ちてきたときなどということが挙がりました。この他にもがけから水がわき出たり割れ目ができたりしたときなどということも見分かりました。やはり自分で気付くことが必要だと思いました。

次に日頃からどんな備えをしていけばよいかを調べました。すると五つのことが見分かりました。

一つ目は、雨に注意することです。危険だと思ったら早め避難することが大切です。

二つ目は、避難場所を決めておくことです。家族全員で避難場所やそこまでの道順を決めておきます。家族全員が一緒にいるとは限らないのであらかじめ決めておけば安心です。

三つ目は、危険な場所を確かめておくことです。役場などにおいてあるので自分で調べておきます。

四つ目は、逃げ方を覚えることです。土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げるのではなく、流れる方向に対して直角に逃げます。

五つ目は、避難訓練に参加することです。市町村などが行う避難訓練に参加し、災害が起きた時のために、避難用品も準備しておきます。

この五つのことはそこまで難しいことはありません。ちょっとした心がけでできると思います。その心がけが命を守ることになるのだと思います。

この後私は、そもそもどうして日本では土砂災害が多いのかと思いました。その理由として次の三つのことが出てきました。

日本ではもろくて崩れやすい岩や土でできた山が多いこと、梅雨や風の時に一時的にたくさんの雨が降ること、そして日本の川は流れが急なものが多いので大雨が降ると一気に流れます。そして洪水になるということです。私は日本では土砂災害が多いのかよく知りませんでした。でもこのように多い原因をはっきりさせてこそ土砂災害を防ぐことが可能になると思います。

日本では地理的な特徴から土砂災害が多いです。でも、しっかりとその現状を理解してして自分でできることをしっかりとやることが大切だと思います。そして土砂災害にかぎらず自分で守れるようにしたいと思います。災害があった場合にはお年寄りや小さい子、体の不十分な人に親切にしてあげられるようにしたいです。